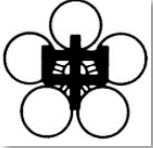


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
令和元年度 第 13号
令和元年 10月30日
校長 水谷 智子

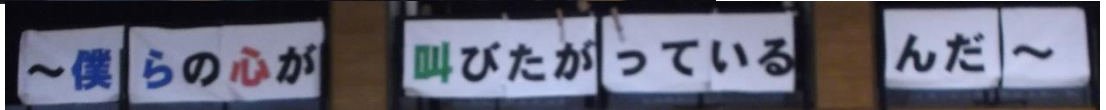
自主創造 高みを目指して

10月26日(土)に、令和元年度第60回白梅祭が行われました。加賀中の伝統行事である白梅祭には、全校生徒が加賀中生のプライドをかけて全力で取り組みます。“先輩の作った壁を越えよう”と燃える3年生。その姿を見て“自分たちも”と頑張る2年生、1年生。どのクラス、どの団体も、「仲間とともにより良いものを創り上げたい」と練習を重ねて、白梅祭当日を迎えました。

今年度の白梅祭は舞台発表のみとなりましたが、その分、集中して練習に取り組むことができました。合唱練習では、これまで以上に縦割りでの交流が盛んに行われ、互いに刺激し合い、協力して、中身の濃い練習が行われました。運動会から白梅祭へと続いていった3年生のリーダーシップが、学校全体の合唱のレベルを上げてくれたと思います。クラス合唱は、指揮者、伴奏者、パートリーダー、実行委員などを中心に、全員が「自分たちで創る」という意識を持って取り組みました。その成果が十分に現れた合唱コンクールでした。どの合唱からも、まっすぐでひたむきな中学生らしさを感じられ、美しいハーモニーからストレートなメッセージが伝わってきて、心から熱い感動を覚えました。

弁論、派遣報告、合唱、演劇、吹奏楽、どれも「表現」です。伝えたい思いがあり、どうしたら相手に伝わるかを考えて、表現の工夫をします。言葉一つ一つを大切に丁寧に、さらには、言葉だけでなく、表情や仕草も含めて、生徒たちは“心の叫び”を届けようと、仲間とともに意見を出し合い、時には葛藤しながら、より良い表現を追求してきました。その過程こそが「主体的・対話的で深い学び」であったと思います。仲間とともに創り上げた経験を自信に、さらなる高みを目指して、“私達が輝く未来を創造するのだ”という気概を持ち、たくましく歩み続けることを期待しています。

第60回白梅祭
スローガン



堂々たる弁士ぶり。さすが学年代表！



合唱コンクール
最優秀賞クラス
3年4組
2年1組
1年3組



笑いあり
涙ありの
演劇部。
ニューヒーロー
出現！



加賀中の誇る
吹奏楽部。
パプリカダンスも
テキーラも
会場と共に。



◎東京 2020 大会に向けて

ラグビーワールドカップでは、ベスト8となった日本チームの快進撃が話題になりました。また、選手の活躍だけでなく、ホスト国としての日本の素晴らしさも、海外から賞賛されています。

次は、いよいよ、東京オリンピック・パラリンピック大会。東京2020大会まで9ヶ月を切り、準備の方も最終段階に入ってきました。

先日、東京2020大会の中高校生ボランティア（現1・2年生のみ）を募集したところ、本校では8名の応募がありました。予定が立たずに今回の応募を見送った人もいるかと思いますが、正式なボランティアとしてだけでなく、都内のあらゆる場所で、日本を訪れた外国の方々といれあう機会があることでしょ。

本校では、10月10日（木）に、3年生を対象に「茶道おもてなし体験」を行いました。昨年度から、オリン



ピック・パラリンピック教育の一環として取り組んでいますが、今年度は事前学習も充実させ、「日本の伝統文化」をより深く感じ取れる体験になりました。体験では、まず、一人一人がにじって入室し、お辞儀の仕方、茶室での振る舞い方などのお話を聞きました。それから、作法に従ってお菓子とお茶をいただき、茶筌を使ってお茶を点てることにも挑戦しました。その後、茶道師範の鈴木先生から、茶の湯の歴史やおもてなしの心など、様々な日本文化のお話を伺いました。

生徒の感想からは、「おもてなしは人の心を癒やしてくれる」「おもてなしは人を思いやること」「相手を思いながら、お茶やお菓子を運ぶ姿が美しい」「すべてのものに感謝することが大切」「日本の文化がこれだけ魅力的だということを共有したい」「日本の文化の良さを改めて感じた」「他国の人とつながるためにも、もっと日本の文化を知りたい」など、茶の湯の魅力を感じ、これからの生き方にまで思いを馳せた様子が窺えました。

生活スタイルの変化に伴い、畳の生活に慣れていないせいか、正座が辛い生徒もいましたが、生徒達にとっては新鮮な日本文化体験になったと思います。来月の夢未来プロジェクト（障害者理解）、3月の留学生交流授業も楽しみです。

◎読書週間

10月27日（日）から11月9日（日）までの2週間は「読書週間」です。「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと、1947年に第1回の読書週間が開催され、翌1948年から、文化の日を中心にした現在の2週間の日程になりました。

本校では、全校で朝読書に取り組んでいますが、行事準備期間中は朝読書の時間をとることができません。白梅祭も終わり、今週からは落ち着いた学校生活に戻りますので、毎朝の読書の時間を大切に、読書に親しみましょう。

去る9月4日には板橋区の全中学校から生徒が集まって書評座談会が開催され、本校からは2年生のK. S.さんとM. S.さんが参加しました。小説『スキップ』について、作者の北村薫先生をお招きして、皆で意見交換を行いました。

最近では、ただ本を読むだけでなく、読んだ本について紹介し、そのプレゼンを聞いた人が読みたくなった本を選ぶ“ビブリオバトル”という取り組みもあります。様々な活動も取り入れながら読書に親しみ、未知の世界に触れたり、想像力を膨らませたりして、知の世界を広げましょう。

活躍の記録

■男子バレーボール部

板橋区中学校新人大会 第3位

■女子バレーボール部

板橋区中学校新人大会 第3位

第4ブロック中学校新人大会 第8位

■卓球部

第72回区民体育大会卓球男子中学生団体1部 第2位

■陸上

第72回東京都中学校市部対抗陸上競技選手権大会出場

1年女子100m K. Y.

最初はばらばらだった歌声が、日が経つにつれて、一つにまとまり、ハーモニーを奏できるようになりました。「みんなで創る」楽しさを存分に味わった生徒達、次はどんな成長を見せてくれるでしょうか？ 保護者・地域の皆様の応援に深く感謝いたします。

